

1. 協議会の取り組みによる成果（阿蘇草原再生への貢献）

今回提出された活動結果報告から、利用・維持管理継続による草原再生への貢献度を検証しました。

①放牧・採草利用への貢献

●採草により守られた面積：約122ha

平成28年度の活動結果報告による採草利用面積は122.9ha。草原再生オペレーター組合による採草活動の面積が大きく貢献しています。

(関連プロジェクト)

No.	事業名・活動名	採草面積(ha)
15	阿蘇花野再生プロジェクト ステップⅢ ～再生した草原に生育する野草資源の持続可能な利用をめざして～	10
17	花咲盛野草園における生物多様性保全活動	5
31	採草による未利用草原の再生	101.7
32	草原再生、野草堆肥を利用した農産品の流通拡大に向けた活動	6.2
	合計	122.9

No.は活動報告の番号(以下同じ)

②維持管理面での貢献

●協議会構成員の牧野組合等が維持管理する牧野面積：約15,593ha

●協議会構成員の牧野組合等による野焼き面積：約11,372ha

平成28年度は、新たに構成員として1牧野組合が加入しました。これにより、協議会構成員の牧野組合により守られている草原面積は15,593haで、阿蘇郡市内の牧野総面積21,796haの71.5%に達します。

また、野焼き面積は11,372haで、阿蘇郡市内全体の野焼き面積16,192haの70.2%にあたります。

(参考)協議会加入の牧野の面積

平成28年阿蘇草原維持再生基礎調査(熊本県)をもとに独自のデータを追加して作成

	協議会加入									計(A)	阿蘇郡市計(B)	割合(A/B)
	阿蘇市	小国町	南小国町	産山村	南阿蘇村	高森町	西原村	山都町				
牧野数	39(59)※1	4	8	4	17	12※2	4	4	92(112)※3	192	47.9%	
牧野面積(ha)	9,424	506	1,418	718	2,082	596	700	149	15,593	21,803	71.5%	
(内訳)	野草地	5,939	486	1,133	451	904	349	529	126	9,916	14,657	67.7%
	牧草地	2,430	21	130	240	372	146	61	10	3,410	4,090	83.4%
	樹林地	874	0	153	27	399	93	110	9	1,665	2,115	78.7%
野焼き面積(ha)	7,390	480	1,155	459	941	333	560	54	11,372	16,192	70.2%	

※1 括弧内の数字は、阿蘇市20団体を加えた加入数(20団体:黒川区長会15、財産区管理会2、ノ)中無田組原野管理組合 北山レストラン、新宮牧場利用組合、西湯浦草原再生委員会

※2 平成28年度基礎調査において機能停止と判明した3牧野を含む。但し、牧野面積および野焼き面積は機能停止牧野の面積を除いて算出

※3 上記脚注(※1・2)と同様

●樹林地除去等により草原が復活した面積：約20ha

牧野組合による採草放棄地の再生や放牧地内の樹木伐採のほか、阿蘇花野協会が取り組むハナシノブ群生地の保管理により、平成28年度の活動では19.65haが草原として復活しました。

(関連プロジェクト)

No.	事業名・活動名	伐採面積(ha)
4	放牧地に隣接する採草放棄地の再生	8.6
5	放牧地内の樹木伐採	0.05
16	阿蘇花野再生プロジェクト ステップⅣ ～生物多様性豊かなハナシノブ群生地の再生をめざして～	11
	合計	19.65

●作業道等整備事業により草原維持管理の作業負担が軽減した牧野組合の面積：約1,045ha

牧野カルテに基づく作業道・歩道整備については、4牧野組合で合計2,282.7mの整備が行われました。これにより、作業負担の軽減が図られた牧野組合の面積は合計1,045ha、平成18年度からの累計は6,640haになります。

③支援ボランティア等の活躍

●野焼き・輪地切り等の維持管理作業へのボランティア参加：延べ2,590人・日

●ボランティア等が支援した野焼き面積：約6,083ha

ボランティア参加数は、昨年度の2,799人から209人減りましたが、延べ2,590人のボランティアが野焼き・輪地切り等の維持管理作業で活躍しました。このうち阿蘇グリーンストックによるボランティア派遣人数は延べ2,508人です。

(関連プロジェクト)

No.	事業名・活動名	野焼き面積(ha)	人数(人・日)
2	草千里ヶ浜の草原環境保全に向けた活動	(30) ※1	(50) ※1
3	野焼きに向けた活動及び交流会	(150) ※1	(131) ※1
4	放牧地に隣接する採草放棄地の再生	(8.6) ※1	(34) ※1
6	野焼き支援ボランティアの協力による野焼きの実施	(9.5) ※1	(12) ※1
7	野焼き支援ボランティア活動	5840	1,192
9	輪地切り、輪地焼き支援ボランティア活動及び野焼き後の牧柵補修活動		1,316
17	花咲盛野草園における生物多様性保全活動	5	32(74) ※1
29	草原環境学習及び草原維持活動	238	50 ※2
	合計	6,083	2,590

※1 ()内の面積・人数は、No.7「野焼き支援ボランティア活動」、No.9「輪地切り、輪地焼き支援ボランティア活動及び野焼き後の牧柵補修活動」の面積・人数に含まれており、合計値はその重複分を除いて算出

※2 熊本県立阿蘇中央高等学校グリーン環境科の生徒数を記載

④阿蘇の草原への理解の拡大

●草原環境学習関連の活動への参加：延べ1,236人

小学生から一般の方々まで、草原環境学習やエコツアー等への参加人数は延べ1,236人。熊本地震の影響により昨年度実施できなかった活動が多く、参加人数も大きく減少しています。

(関連プロジェクト)

No.	事業・活動名	参加人数(人)		
		小中高生	一般	合計
12	草小積み再生プロジェクト	-	6	6
17	花咲盛野草園における生物多様性保全活動	-	152	152
22	野草の優位性の調査	3	2	5
23	阿蘇草原キッズ・プロジェクトⅡ ～阿蘇の子どもたちに草原を伝えよう～	- (354) ※1	25	25
24	阿蘇郡市内のすべての小学校で草原環境学習を!	91	-	91
25	阿蘇の草原キッズになろう! 秋編・野焼き編	160	-	160
26	出前講座:阿蘇の草原を未来へつなごう	91 (133) ※1	-	91
27	阿蘇の小学生・中学生と東京の大学生との協働による草原環境学習の取り組み	49	-	49
28	草原学習館を活用した阿蘇の草原を広く知ってもらう取り組み	*	*	537
29	草原環境学習及び草原維持活動	50 ※2	-	50
32	草原再生、野草堆肥を利用した農産品の流通拡大に向けた活動	-	70	70
	合計	444	255	1,236

※1 ()内の人数から、関係団体との連携プログラムを除いた参加人数を算出

※2 熊本県立阿蘇中央高等学校グリーン環境科の生徒数を記載